第５８回羊蹄ジュニアクロスカントリースキー競技大会競技規則

１　競技大会及び選手

・ライセンスの有無にかかわらず、あらゆるクロスカントリー選手が参加できる競技大会とする。
・エントリーは、大会開催要項へ記載の通りとする。
・シードは、FIS,SAJ,ポイント、前回の成績で決め、ポイントや成績のない場合はコンピュータードローとする。
・グループ分けは、大会開催要項へ記載の通りとする。
・リザルトは、公式掲示板に仮掲示し１５分後に公式掲示とする。
・公式掲示前の異議申し立ては、書面をもってセクレタリーへ提出することとし、公式掲示後は一切認められない。
・選手は、スポーツマン精神、礼儀など、スポーツマンとして不相応な態度をとった選手はジュリーによって失格とみなされる。

２　コース

・選手は、スタートからフィニッシュまでの間、指定されたコースを滑りすべてのコントロールポイントを通過する。
・選手は、スキーを付け自力でコースを完走することとし、他からの援助は認められない。
・選手は、他の選手を妨害するまたは干渉してはならない。
・選手は、速い選手が追い抜きやすいように、常識的な対応をする。
・選手にはスタート前に、スタート時刻、コース説明、テクニック、スタート方法、ウォームアップエリア及びその方法、競技者未完走時の処置、フィニッシュラインでの手順、リザルト発表、抗議手順、表彰等、短い告示の手順、チームキャプテン、ジュリーミーティング時間と場所、その他必要な情報を与える。
・コースは、小学生はダブルトラック、中学生はシングルトラックをセットする。ただし、コースの形状によっては、セットできない場合がある。
・スタートエリアは、平坦、またはほぼ平坦な場所としスタートエリアからコースに直接つなげ、著しい混雑が避けられるように設置する。スタートエリア内では、スタート審判の指示に従い競技者、競技役員以外は原則立ち入ることができない。
・フィニッシュエリアまでの区間は、直線で平坦なコースとする。フィニッシュエリアも平坦でかつ十分な幅でなければならない。クラシカルテクニックでは、フィニッシュエリアまでの間できる限り多くのトラックを設けるものとする。但し、積雪や会場の関係で十分な延長、幅、コースが用意できない場合がある。
・フィニッシュエリアでのバンフライは禁止で、選手はコースを変更して追い越す。
・コースは、競技が安全に行われるよう十分配慮し整備を行う。

３　技術

・クラシカル部門は、ダイアゴナル・ストライド・テクニック、一歩滑走、ダブル・ポール、滑走動作を伴わない開脚登高、進路変更時に使用するターン・テクニックが含まれる。

４　その他

・競技運営に必要とされる事項は監督者会議においてＴＤが口頭または書面を持って通知する。